

令和5年度小林古径記念美術館運営委員会次第

日時：令和6年3月5日（火）午後1時30分から

場所：小林古径記念美術館

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 正副委員長選出
委員長、副委員長の選出
- 4 議 事
 - (1) 令和5年度事業の経過報告
 - (2) 令和6年度の事業計画について
 - (3) 今後の美術館事業に対する意見徴収
- 5 その他
- 6 閉 会

小林古径記念美術館運営委員会 委員名簿

1 委員

選出区分	氏名	役職等	備考
美術文化について識見を有する人	たかはし のぶお 高橋 信雄	小林古径保存会	再任
	かわさき ひかり 川崎 日香湊	日本画家	再任
学校教育及び社会教育に精通する人	いからし しほ 五十嵐 史帆	上越教育大学教授（美術教育）	再任
	おおつか あきら 大塚 啓	柿崎中学校校長 上越美術教育連盟会長	再任
公募に応じた市民	みやこし けいこ 宮越 啓子		新任

2 任期

令和5年4月1日～令和7年3月31日（2年間）

令和5年度事業について（令和6年2月12日現在）

1 展覧会事業

企画展「あつめてのこす、ひろくつたえる～新収蔵品から～」

(1) 企画展の概要

会 期：令和5年3月25日（土）～7月2日（日） 89日間

開 催 内 容：美術館は「作品を収集する」「作品を保存する」「公開し、広く伝える」という大切な役割がある。今回は令和2年度から令和4年度までに収集した新収蔵作品の展示を通じて当館のコレクションの成り立ちや「あつめてのこす、ひろくつたえる」活動を紹介した。

主な展示作品：小林古径《梅にうぐいす》、安田鞞彦《紅花青花》、モーリス・ユトリロ《クレミューの教会》、牧野虎雄《築山芥子》、岩野勇三《りさ》、北大路魯山人《赤絵蓋付碗 長春富貴》
相馬御風／竹内臨川《良寛と貞心尼》

そ の 他：・観桜会期間は、開館時間を午後7時まで延長した。

・5月21日（日）は、「国際博物館の日」の記念事業として施設を無料開放した。

担 当 学 芸 員：伊藤舞実・小川陽子

(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	2,269人	1,986人	4,255人
幼・小・中・高	166人	491人	657人
計	2,435人	2,477人	4,912人

・1日平均55人、有料入館率：49.7% 目標入館者数：5,000人

・令和5年3月25日～3月31日までの入館者数341人を含む。

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
小林古径生誕140年記念 さくら茶席	①4月1日（土） ②4月2日（日） ③4月8日（土） ④4月9日（日） 10:00～15:00	①32人 ②23人 ③10人 ④11人	小林古径邸でミュージアムファンクラブによる茶席を開催した。 (抹茶と和菓子セット500円)
鑑賞&トーク 「この作品、どうしてここにあるの？」	①4月15日（土） ②5月13日（土） ③6月18日（日） 14:00～15:00	①2人 ②5人 ③3人	作品にまつわる話をしながら学芸員と一緒に展示を鑑賞した。
GW 特別企画 「古径邸・庭園見どころガイドツアー」	5月4日（木・祝） 14:00～15:00	16人	学芸員とともに古径邸庭園を散策し、国登録有形文化財・小林古径邸の建築の見どころを解説した。
のこしてつたえる 「彫刻ぴかぴか大作戦」	5月14日（日） 9:00～10:30	11人	高田城址公園内のブロンズ彫刻作品を清掃し、彫刻に親しんでもらう機会を提供した。

スペシャル☆よちよちタイム	5月23日(火) 10:00~12:00	0歳から年 長までの 子どもと 保護者 6組	毎週火曜日に実施している「よちよちタイム」のスペシャル版として、絵本の読み聞かせと親子鑑賞ツアー、おえかきを行った。 (協力:高田図書館職員)
ワークショップ 「くらべてみよう 日本画と油彩画」	①5月27日(土) ②6月3日(土) 13:30~15:00	①0人 ②15人	日本画・油絵キットを使って実際に絵具を塗り、その質感を楽しんだ。

(4) 来館者からの声 (アンケートより)

- ・さまざまなジャンルの作品、私の好きな画家の作品もあり楽しめた。
- ・地元にも意義深い作品を遺した画家が少なくないことを実感した。
- ・美術館の作品収集についてフォーカスした展示は初めてだったのでとても新鮮だった。当たり前のように美術作品を楽しんでいたが、学芸員の陰の力あってこそ成り立っていたのだと思った。上越市はとても良いところで気に入った。

(5) 効果と課題

- ・今回は令和2年度の開館から4年度までに新しく収集した作品を選んで展示した。「新収蔵品」をテーマとしているため、様々なジャンルの作品を紹介することができたが、「新収蔵品」という展示構成だけではテーマ性や展示のストーリー性が乏しいため、展覧会PRの方法が難しいと感じた。
- ・展示に合わせて、美術館の収集方針、収集に関するエピソードなど、ふだん見せていない美術館活動の一面をパネルで展示し、来館者に紹介することができた。

企画展「生誕110年 齋藤三郎展」

(1) 企画展の概要

会 期：令和5年7月15日(土)～10月9日(月・祝) 76日間

開 催 内 容：上越市ゆかりの陶芸家・齋藤三郎の生誕110年を記念し、修業時代から晩年までの作品を展示した。その他、書画や商業デザインなど多岐に渡る活躍も合わせて紹介し、展覧会をとおして三郎が地元の文化振興に果たした功績を紹介した。

主な展示作品：《色絵籠に蕨文大皿》(樹下美術館蔵)、《色絵椿文大壺》(個人蔵)ほか

そ の 他：展覧会図録として「齋藤三郎展図録」(A5判、88頁、カラー、頒布価格1,000円)を作成した。

関連する美術館である樹下美術館と入館料の相互割引(団体料金)を実施した。

担当学芸員：市川高子・小川陽子

(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	2,506人	1,328人	3,834人
幼・小・中・高	38人	225人	263人
計	2,544人	1,553人	4,097人

・1日平均54人、有料入館率：62% 目標入館者数：5,000人

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内容
リレー・トーク 「齋藤三郎、人と芸術」	①7月17日(月・祝) ②9月9日(土) 各回14:00～	142人	齋藤三郎の人となりや芸術について、作品を見ながら語ってもらうトークイベントを開催した。 ①齋藤尚明氏(二代陶齋) ②杉田玄氏(樹下美術館館長)
タッチ&トーク	①7月22日(土) ②8月20日(日) ③9月16日(土) 各回14:00～	14人	作品を鑑賞した後、実際に作品に触れてもらうイベントを開催した。
美術館で夏やすみ!	8月5日(土) 10:00～16:00	249人	風鈴絵付けや植木鉢づくり、なぞ解きゲーム、縁日等が楽しめるイベントを開催した。
雪国の窯上映会 (全18日間、36回)	8月19日(土)～10月9日(月・祝)までの 土、日曜日、祝日 ①11:00～ ②15:00～	359人	昭和48年に放映されたBSN番組「雪国の窯」(30分)を上映した。 協力:BSN新潟放送
①樹下美術館との相互割引 ②着物割 ③三郎さん割	会期中	①15人 ②8人 ③1人	広報を兼ねて、本展にちなんだ割引入館料を設定した。

(4) 来館者からの声(アンケートより)

- ・上越市にこんな陶芸家がいたと知り驚いた。今後もそのような芸術家を取り上げて行ってほしい。
- ・棟方志功や會津八一など、著名な人たちと交流があったことを知り、才能豊かで魅力的な人物だったのだろうと想像した。
- ・ワインのラベルや富寿しの包装紙など、今でもデザインが残っていることに感心した。
- ・親子で来てみたが、子ども向けワークシートがあって楽しく鑑賞することができた。

(5) 効果と課題

- ・齋藤三郎は新潟県を代表する陶芸家の一人であり、陶芸作品だけでなく書画や商業デザインなど多方面から作家の業績を紹介することができた。岩の原ワインや富寿し、上越酒造など企業からも協力を得て展覧会を開催することができた。この展覧会を通して、県内外の方に齋藤三郎の作品について知っていただいた。
- ・齋藤三郎本人を知る人も少なくなる一方で、市内にはまだ多くの作品が残っている。再び作家に光を当てることで、個人が所蔵する作品への理解を深める機縁となった。この展覧会を機に作品の寄贈につなげることができた。
- ・今回の企画展に関連する樹下美術館(大潟区、個人所有美術館)とは作品貸借や図録の編集を通じて交流・連携することができ、館同士の信頼関係を築くことができた。

企画展「生誕 140 年 小林古径の世界」

(1) 企画展の概要

会 期：令和 5 年 10 月 21 日（土）～11 月 19 日（日） 30 日間 ※会期中無休

開 催 内 容：上越市出身の日本画家・小林古径の生誕 140 年を記念し、初期から晩年までの作品を展示した。あわせて小林古径邸（国登録有形文化財）や画室を紹介し、作品のみならず、古径の人となりも感じてもらう機会とした。

主な展示作品：《極楽井》（東京国立近代美術館）《芥子》（東京国立博物館）、《竹取物語》（京都国立近代美術館）、《禄》（茨城県近代美術館）、《桜町中納言》（二階堂美術館）ほか

そ の 他：展覧会図録として「生誕 140 年 小林古径の世界」（A5 判、184 頁、カラー、頒布価格 2,000 円）を作成した。

会期中、上越市立水族博物館及び林富永邸と連携し、古径の原寸大複製画を展示するとともに企画展の PR を行った。水族博物館とは入館料の相互割引（団体料金）を実施した。

担当学芸員：笹川修一・伊藤舞実

(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	2,465人	961人	3,426人
幼・小・中・高	115人	212人	327人
計	2,580人	1,173人	3,753人

・1日平均125人、有料入館率：69% 目標入館者数：8,000人

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
子ども向けワークショップ「オリジナル絵巻をつくろう！」	10月28日（土） 13:30～15:30	小学生 9名	絵巻《竹取物語》を鑑賞し、絵巻の特徴や魅力を知った後、実際に絵巻の特徴を生かした作品作りを行った。 （講師：洞谷亜里佐氏）
学芸員によるスライドトーク「小林古径 生涯と作品」	11月3日（金・祝） 13:30～15:00	一般 30名	小林古径の生涯と作品についてスライドを使用して解説した。 （講師：笹川統括学芸員）
紅葉ライトアップ	11月11日（土）～ 11月19日（日） 日没～19:00	—	紅葉の時期に合わせて庭園ライトアップを実施した。ライトアップに合わせ、開館時間を午後7時まで延長した。
サロンコンサート～ハーブとフルーツの響き～	11月11日（土） 17:30～20:00	一般 32名	展覧会鑑賞とハーブ・フルーツの演奏会（軽食・ワイン付き）を実施した。 （協賛：J マテ・ホールディングス㈱、おひさま耳鼻咽喉科）

親子向けコンサート～ハーブで奏でるジブリ&ディズニー～	11月12日(日) 13:30～14:00	親子38組(120名)	演奏を楽しんだ後に、親子で展示を鑑賞した。 (協賛:Jマテ.ホールディングス株、おひさま耳鼻咽喉科)
-----------------------------	--------------------------	-------------	---

(4) 他館との連携事業

イベント名	実施日	参加者数	内容
林富永邸との連携展示	10月21日(土)～ 11月19日(日)	-	築140年を迎える林富永邸内に、古径の複製画を展示した。
上越市立水族博物館との連携展示	10月21日(土)～ 11月19日(日)	-	上越市立水族博物館で古径が描いた魚の複製画を展示したほか、水族館開催の「イルカの造形美 シュプリンゲン 飛翔 宮田亮平の世界展」に合わせ、宮田氏の作品6点を二ノ丸ホールで展示した。

(5) 来館者からの声(アンケートより)

- ・今まで実物を見たことがない作品を見ることが出来、ありがたかった。
- ・よくこれだけの作品を集められたと思う。感謝する。
- ・小林古径の作品を初めて見たが、きれいな作品が多く、見に来てよかったと感じた。
- ・上越市出身の作家の展覧会を地元で開催することはとても意義のあること。今後も上越市ゆかりの作家の作品を紹介する機会を設けてもらいたい。

(6) 効果と課題

- ・全国の美術館や博物館で分蔵されている古径作品を借用し、過去に上越市で展示したことのない作品を多く展示紹介することで、来館者に古径芸術を紹介することができた。作品展示のほかに古径邸や画室を広く発信することで、小林古径記念美術館の存在や特徴をアピールすることができた。
- ・会期にあわせて上越市立水族博物館うみがたりや林富永邸(国登録有形文化財、三和区)と連携して各会場で古径の原寸大複製画を展示し、古径作品や企画展をPRした。
- ・来館者は市内からだけでなく、関東・北陸を始め、全国各地から来館者を集めることができたが、目標入館者数を確保することができなかった。
- ・近年は美術の分野が多様化しており、全国的にも近代美術へのニーズが低下してきている。これまで古径作品を紹介している頻度が多く、目新しさが感じられなかったことが一つの要因かも知れないが、古径の名前を冠した美術館として今後も継続的に古径の芸術性を発信していく必要がある。
- ・来館者では学校利用や子どもの入館者数が伸び悩んでおり、「郷土の偉人」や「日本画教育」としても教育利用を高めていく必要がある。

企画展「生誕 140 年 古径さんの素描」(開催中)

(1) 企画展の概要

会 期：令和 5 年 12 月 2 日 (土) ～令和 6 年 3 月 10 日 (日) 81 日間

開 催 内 容：当館所蔵の約 1,300 点にのぼる小林古径の素描作品は作品制作過程を知る上で非常に貴重な資料である。古径の生誕 140 年を記念し、素描作品の中から古典絵画や寺社宝物の模写、身近な動植物の写生などバラエティに富んだ作品を展示した。

主な展示作品：《菊》《柘榴・柿ほか》《郁子》《牡丹》(全て小林古径作、小林古径記念美術館所蔵)

そ の 他：2 月 11 日(日・祝)は小林古径生誕日につき、終日入館無料とし午後 7 時まで延長開館を実施した。

担 当 学 芸 員：小川陽子・市川高子

(2) 入館者の状況

区 分	有 料	無 料	合 計
一 般	397人	970人	1,367人
幼・小・中・高	2人	206人	208人
計	399人	1,176人	1,575人

・1日平均19人、有料入館率：25% (※2月12日現在) 目標入館者数：2,000人

(3) 関連イベント

イベント名	実施日	参加者数	内 容
学芸員によるギャラリートーク (開催中)	①12月9日(土) ②1月14日(日) ③3月9日(土) 各回 13:30～14:30	①10人 ②3人 ③-人	学芸員と一緒に展示を鑑賞し、作品についてゲームやクイズを交えながら解説を行った。
古径さんの作品で「上げ写し」技法を体験してみよう!	12月16日(土) 13:30～15:00	6人	展示室で作品を鑑賞した後、実際に古径さんの作品で上げ写し技法を体験した。
古径さんの作品の「線」を引いてみよう! (開催中)	会期中 ※2月11日を除く	延べ 74人 ※2/12現在	古径さんになりきって、展示作品の線を引くイベントを開催。
小林古径生誕記念日キャンドルナイト 2024	2月11日(日) 10:00～19:00	830人	庭園内に雪灯籠を作り、明かりを灯した。画室でオリジナル和菓子と抹茶を提供した。当日は入館無料、茶席を開催。

2 教育普及事業

(1) 美術館主催・共催イベント・サービス

イベント名	開催日	会場	内容	参加者数
よちよちタイム	開館中の火曜日 9:00~12:00 (12月~3月は 10:00~12:00 全40回実施	二ノ丸 ホール	未就学児の保護者が気兼ねなく美術館で作品鑑賞をしてもらうことを目的に実施。火曜日の午前中を「よちよちタイム」とし、保護者1名無料とした。ホール内に自由に遊べるおもちゃや絵本を用意した。	保護者：46人 乳幼児：54人 計：100人 (31/40回) ※1月31日現在
彫刻びかびか★ 大作戦	5月14日(日) 9:00~11:30	高田城 址公園 内	高田城址公園内のブロンズ彫刻作品を清掃し、ワックスを塗って仕上げた。ブロンズ彫刻を実際に触れてもらう契機とした。	一般10人 大学生1人 中学生1人 計11人
スペシャル☆よ ちよちタイム	5月23日(火) 10:00~12:00	二ノ丸 ホール	乳幼児とその保護者向けのイベント。絵本読み聞かせや作品を「みる」「描く」体験を通して、美術館やアートに親しんでもらった。	13人 (乳幼児と保 護者6組)
こどものための 美術館ガイド 「きっず★ア ートチャレンジ」	-	美術館 内	小林古径や展示作品、日本画の絵具に関する問題を解き、子どもたちに美術館を気軽に親しんでもらう取り組みを行った。	118人 ※1月31日現在
スマートフォン 向け アプリ「ポケッ ト学芸員」	-	-	展示作品画像や解説を自分のスマートフォンから楽しむことができるアプリで、展示室にある解説文や作品画像を楽しむことができる。	-

【イベントについての総括】

- 令和4年度まで実施してきた「どようワークショップ」を見直し、各展覧会の関連イベントをより充実させるよう位置づけた。
- 彫刻びかびか大作戦は、前回の4人から10人に増えた。初参加のほか、リピーターや学生ボランティアなど、参加者に広がりが見られた。
- 「よちよちタイム」の対象者により美術館を楽しんでもらうことを目的として高田図書館と連携して「スペシャル☆よちよちタイム」を実施した。このほかにも図書館内で企画展関連図書を紹介や図書館まつりで美術館の出張講座を行った。近隣施設として今後も図書館と連携を継続していく。
- 「きっず★アートチャレンジ」については「Vol.2」を作成し、「生誕140年 小林古径の世界展」から配布を開始した。Vol.1では美術館施設の内容、Vol.2は美術館の役割などについて性格を変えており、子どもたちが楽しみながら美術館への理解を深めてもらうきっかけとなった。
- 各展覧会で学校団体の要望に合わせた「展覧会鑑賞ワークシート」などを作成・活用し、展示作品に対して理解を深めてもらった。

(2) 出張講座

内容	No.	団体名	人数	実施期日	備考
日本画体験	1	上越教育大学附属小学校 6年生	36人	5月2日(火)	来館・体験
	2	南城高校 3年生	20人	10月5日(木)	
	3	大和小学校 1~6年生	30人	10月27日(金)	
	4	高田図書館	8人	11月5日(日)	
	5	糸魚川中学校 2年生	138人	12月6日(水) 12月8日(金)	体験
	6	大手町小学校 3年生	44人	12月14日(木)	来館・体験
鑑賞	7	糸魚川中学校 2年生	138人	12月13日(水)	オンライン
合計			414人		

【出張講座総括】

- ・前年同様7件の出前講座を行った。内2件は美術館来館時に実施、1件はオンライン授業(鑑賞)を行った。実施時期は4~8月に実施した前年に比べて、10月~12月に実施が集中した。
- ・開館後初めて市外の出前講座(糸魚川中学校)をオンラインで行い、授業を通じて市外学校に美術館の活動を伝えることができた。学校の通信環境や生徒たちのオンライン授業への習熟度が一律ではないため、オンライン授業を行う際の方法を研究する必要がある。

(3) 画材貸出

◆教材キット内容

小林古径が使用したものに近い筆、絵具を揃えた。使用キットは人数に応じて用意する。

キット種類	内 容
見本キット(木箱入り)	岩絵具の原石や岩絵具見本、和紙の原料や紙・絹見本、墨、金箔など
使用キット	岩絵具セット、水干絵具セット、胡粉、顔彩セット、筆や絵皿など
日本画制作過程見本	8工程からなる日本画の制作過程見本(F6サイズボード)
原寸大デジタル複製画	小林古径の複製画を貸与する。貸与点数は一回につき約5点まで。

貸し出し状況

No.	団体・学校名	期 日	内 容
1	洞谷亜里佐氏 (上越教育大学教授)	4月18日(火) ~4月22日(土)	大学講義で使用のため、日本画キット貸出

(4) 団体見学

No.	団体・学校名	期 日	人数	備考
1	日本旅行ジパング	4月5日(水)	8人	
2		4月6日(木)	6人	
3	長野・上越地域連携協議会(商工会議所)	4月6日(木)	30人	鑑賞会+食事会
4	株式会社小柳善三郎商店	4月7日(金)	33人	
5	高田城址公園観桜会×小林古径記念美術館特別鑑賞プラン「専門ガイド付き鑑賞会+特別ディナー」	4月7日(金)	20人	鑑賞会+食事会
6	新潟交通くれよん	4月9日(日)	28人	
7	城北中学校	4月11日(火)	219人	
8	増田建設(株)清友会	4月15日(土)	16人	
9	フカミ美術月釜茶会	4月30日(日)	61人	
10	上越教育大学附属小学校6年生	5月2日(火)	34人	
11	フカミ美術月釜茶会	5月20日(土)	63人	
12	上越教育大学×アイオワ大学	5月23日(火)	22人	見学+茶道体験
13	雄志中学校2年生	5月24日(水)	10人	
14	新日本婦人の会 あやめ班	5月26日(金)	20人	
15	高志小学校	6月8日(木)	45人	
16	高田高校1年生	6月13日(火)	47人	
17		6月14日(水)	19人	
18		6月15日(木)	15人	
19		6月16日(金)	26人	
20	フカミ美術月釜茶会	6月18日(日)	65人	
21	北城4丁目老人会(北陽会)	6月28日(水)	13人	
22	協同組合ハイコープ	7月15日(土)	30人	
23	新津洋画グループ	7月19日(水)	12人	
24	フカミ美術月釜茶会	7月30日(日)	65人	
25	フカミ美術月釜茶会	8月26日(土)	56人	
26	未来悠々の会	9月3日(日)	11人	
27	三越伊勢丹ニッコウトラベル	9月10日(日)	7人	
28	ギャラリーライム	9月12日(火)	32人	
29	上越春秋会	9月20日(水)	11人	
30	上越建築組合南支部	9月24日(日)	20人	
31	フカミ美術月釜茶会	9月24日(日)	59人	
32	八千浦中学校	10月3日(火)	26人	
33	フカミ美術月釜茶会	10月8日(日)	84人	直江津中等26名含む
34	新潟南福祉会	11月2日(木)	24人	
35	三郷小学校	11月2日(木)	17人	
36	新潟日報メディアシップブランド旅行センター	11月2日(木)	20人	
37	板倉区町内会長先進地視察	11月8日(水)	17人	

38	つくば開成高校	11月8日(水)	12人	
39	上越総合技術高校	11月13日(月)	29人	
40		11月14日(火)	51人	
41	上越市学校教育研究部会図工・美術	11月15日(水)	40人	講演+展示解説
42	天宗寺	11月15日(水)	10人	
43	クラブツーリズム 華麗なる邸宅巡り	11月14日(火)	19人	
44		11月16日(木)	25人	
45	牧区公民館	11月16日(木)	27人	
46	上越教育大学附属小学校3年生	11月17日(金)	35人	
47	大手町小学校	12月14日(木)	38人	
48	池坊の会	12月17日(日)	10人	
49	行政書士会上越支部	1月27日(土)	20人	講演+展示解説
50	浦項市高校生交流事業	1月30日(火)	20人	
51	ハミングツアー	2月17日(日)	38人	
52	上越総合技術高校	2月22日(木)	32人	※予定
53	春日小学校3年生	3月5日(火)	103人	※予定

※合計 53 件、うち学校団体 16 件(小学校 5 件、中学校 3 件、高校 8 件)

【団体見学総括】

- ・受付件数は 53 件で昨年よりも 5 件減となった。前年比較では学校団体は高校が 3 件減、学校団体以外が 2 件減となった。例年並みで横這い状態である。新型コロナウイルスの 5 類移行に伴い全国的に観光需要が高まってきており、観光業者へ美術館を PR して団体入館者数の増加を図り、上越の芸術文化の魅力を発信していく。

(5) 博物館実習の受け入れ（上越市立歴史博物館との共同事業）

実習日：令和 5 年 8 月 1 日（火）～8 月 5 日（土）5 日間

実習者：1 人（富山大学芸術文化学部 4 年）

(6) 中学生職場体験の受け入れ

実習日：令和 5 年 9 月 12 日（火）～14 日（木）3 日間

実習者：4 人（城東中学校）

【実習・職場体験総括】

- ・博物館実習についてはこれまで博物館と共同事業として実施してきたが、より美術館の専門的な内容に特化することとし、令和 6 年度から美術館単独事業として実施することとした。

3 広報活動

(1) 上越市有線放送協会「小林古径記念美術館を訪ねて」(シーズン4) 出演

No.	内 容	放送日	担 当
1	新収蔵品展の紹介	4月6日(木)	伊藤舞実
2	新収蔵品展イベント紹介、国際博物館の日入館無料 「Museums, Sustainability and Well-being」	5月4日(木)	小川陽子
3	美術作品の収集と保管、活用 「あつめてのこす、ひろくつたえる」活動とは?	6月1日(木)	伊藤舞実
4	生誕110年 齋藤三郎展 齋藤三郎紹介	7月6日(木)	市川高子
5	齋藤三郎展関連イベント「美術館で夏やすみ！」	8月3日(木)	市川高子
6	7分でおさらい!? 小林古径の生涯	9月7日(木)	笹川修一
7	いよいよ開催!生誕140年小林古径展と関連イベント	10月5日(木)	笹川修一
8	古径作品の紹介と庭園ライトアップ	11月2日(木)	伊藤舞実
9	古径素描展の紹介	12月7日(木)	小川陽子
10	古径素描の魅力とは?	1月4日(木)	小川陽子
11	今年もやります!キャンドルナイト	2月1日(木)	小川陽子
12	柴田長俊展のご案内	3月7日(木)	伊藤舞実

(2) ラジオ出演

No.	番組名	内 容	放送日	担 当
1	FM みょうこう	新収蔵品展	5月10日(水)	小川陽子
2	JCV ラジオ・FM みょうこう 番組生 放送	新収蔵品展 国際博物館の日	5月18日(木)	伊藤舞実
3	JCV ラジオ番組生放送	齋藤三郎展	9月21日(木)	小川陽子
4	広報Jステーション	小林古径展	10月6日(金)	伊藤舞実

(3) 上越ケーブルテレビ(JCV) 出演

No.	番組名	内 容	放送日	担 当
1	MJ いんふおめーしょん	新収蔵品展	5月10日(水)	小川陽子
2	MJ いんふおめーしょん	齋藤三郎展	8月9日(水)	市川高子
3	MJ いんふおめーしょん	小林古径展	10月24日(火)	伊藤舞実
4	MJ いんふおめーしょん	古径さんの素描	12月26日(火)	小川陽子
5	MJ いんふおめーしょん	キャンドルナイト	1月29日(月)	小川陽子
6	MJ いんふおめーしょん	古径さんの素描 柴田長俊展	2月20日(火)	小川陽子

(4) 美術館ホームページアクセス数と SNS 投稿数

月	ホームページ	Facebook		Instagram	
	ページビュー数	投稿 件数	一番反応のあった投稿 (閲覧数)	投稿 件数	一番反応のあった投稿 (閲覧数)
4月	4,392回	8	GW 特別企画「古径邸・庭園 見どころガイドツアー」 (475)	-	開設準備 (開設日：5月3日)
5月	4,965回	13	国際博物館の日を記念し て、施設を無料開放します (1,168)	9	美術館の庭に菖蒲の花が咲 きました。(81)
6月	3,571回	6	企画展まもなく終了！ (453)	5	鑑賞&トーク会「この作品、 どうしてここにあるの？」 を開催 (81)
7月	4,486回	6	祝・齋藤三郎誕生日！ (246)	7	「美術館で夏やすみ」案内 (118)
8月	4,045回	8	美術館の雁木に風鈴を吊 るしました (280)	9	今日もたくさんの子もた ちが美術館に遊びに来てく れました (114)
9月	4,410回	4	齋藤三郎展講演会のお知 らせ (192)	5	古径展 イベント申し込み スタート (144)
10月	5,580回	7	古径展イベント紹介(323)	6	秋の庭園をお楽しみ下さい (117)
11月	5,834回	10	「小林古径の世界」閉幕ま であと3日！vol.1 (298)	10	オリジナル絵巻をつくろ う！を開催しました (132)
12月	2,276回	7	展覧会関連イベント③古 径さんの線を引いてみよ う案内 (226)	6	古径さんの作品で「上げ写 し」技法を体験してみよ う！を実施しました (94)
1月	2,192回	8	作品の保管状況を再点検 しました (260)	7	「小林古径生誕記念日 キ ャンドルナイト 2024」開催 のご案内 (154)
2月	-	5	(集計中)	5	(集計中)
3月	-	-	-	-	-

※現在のフォロワー数：Facebook 227人、Instagram 136人（令和6度2月15日時点）

(5) 取材協力

No.	メディア名	内容	取材日	担当
1	新潟テレビ 21・北陸朝日放送・長野朝日放送	テレビ朝日系列3局ブロック特別番組「長野・上越・金沢3市長が描くミライ予想図」(5月27日放送)	4月14日(金) 4月15日(土)	宮崎俊英 笹川修一
2	ハーツ・アンド・マインズ	大田区情報誌『月刊 おとなりさん』「特集 小林古径」	7月19日(水)	伊藤舞実
3	上越市広報対話課	『広報上越』9月号 「小林古径の世界」特集記事	7月28日(金)	笹川修一 伊藤舞実
4	新潟日報	「生誕140年・日本画家 小林古径」『新潟日報(まいにちふむふむ)』(掲載日)	7月31日(月)	笹川修一
5	新潟県観光文化スポーツ部文化課	『Niigata Culture Tourism 上越エリア』「小林古径記念美術館で美術館デビューしよう！」(令和6年1月15日発行)	9月24日(日)	小川陽子
6	株式会社フルタイム	『にいがた文化物語』Web記事 「小林古径の世界」	10月21日(土)	伊藤舞実
7	建築画報社	『建築画報』「宮本忠長建築設計事務所特集」	11月22日(水)	宮崎俊英
8	上越市広報対話課	『広報上越』令和6年4月号 「柴田長俊展」特集記事	2月22日(木)	笹川修一 伊藤舞実

『広報上越』9月号は「新潟県広報コンクール県知事賞」を受賞した

【広報活動総括】

- ・今年度からInstagramを開設し、写真を中心とした情報を発信した。Instagramメインユーザーは20~30代であり、美術館の来館者層としては希薄であるため、情報発信によって来館者として取り入れたいと考えているが、まだ効果としては表れていない。今後も様々なメディアへ情報を露出することで、美術館の魅力を発信し、来館者の確保へとつなげていく。

4 調査研究事業等

(1) 講演会等講師

No.	団体名	日時	内容	講師	参加者数
1	大潟地区公民館	6月7日(水) 9:30~11:00	小林古径について 「ふるさと散歩道」	笹川修一	29人
2	直江津ロータリークラブ	6月20日(火) 12:30~13:00	生誕140年小林古径 について	笹川修一	30人
3	高田ロータリークラブ	6月23日(金) 12:30~13:00	生誕110年齋藤三郎 人と芸術	市川高子	45人
4	小林古径記念美術館 友の会	6月25日(日) 13:30~14:30	小林古径の生涯と作 品(前編)	笹川修一	22人
5	小林古径記念美術館 友の会	8月26日(土) 13:30~14:30	小林古径の生涯と作 品(後編)	笹川修一	24人
6	小林古径記念美術館 友の会	9月26日(火)	美術館巡り講師 (新潟市新津美術館 ほか)	市川高子	30人
7	上越教育大学 (非常勤講師)	10月28日(土)、 29日(日) 9:30~16:30	伝統絵画表現と鑑賞 (集中講義)	笹川修一	6人
8	小林古径記念美術館 友の会	11月10日(金) 13:30~14:30	小林古径の作品につ いて(展示解説)	笹川修一	30人
9	上越市学校教育研究 部会(図工・美術)	11月15日(水) 14:00~16:30	小林古径について説 明、展示解説	伊藤舞実	44人
10	上越教育大学 (非常勤講師)	11月24日(金) 13:00~14:30	教科内容構成 「上越市ゆかりの作 家と美術館の役割」	笹川修一	3人
11	新潟県立北城高等学 校	11月29日(水) 12:40~13:30	地域課題学習	伊藤舞実	15人
12	上越教育大学 (非常勤講師)	1月26日(金) 13:00~14:30	教科内容構成 発表講評	笹川修一	3人
13	新潟県行政書士会上 越支部	1月27日(土) 14:30~16:30	小林古径について講 義、館内説明	笹川修一	20人
14	高田本町百年商店街 実行委員会	2月3日(土) 10:30~11:30	高田本町絵看板まつ り2024トークショー 「絵看板のチカラ」	小川陽子	15人

(2) 依頼原稿執筆

No.	団体名・書籍名等	掲載日	内容
1	上越タイムス紙上連載 「あつめてのこす、ひろくつたえる ～新収蔵品から～」	①5月3日(水) ②5月4日(木) ③5月5日(金)	「新収蔵品展」作品紹介(全5回) ④宮崎俊英 ②⑤伊藤舞実

		④5月6日(土) ⑤5月7日(日)	①③小川陽子
2	新潟日報紙上記事 展覧会へようこそ	9月12日(火)	市川高子 「生誕110年 齋藤三郎展」
3	独立行政法人国立美術館 国立アトリサーチセンター 『日本のアーティスト事典』 アート・プラットフォーム・ジャパン (APJ)サイトに掲載(インターネット 公開)	7月下旬以降、各 作家順次公開	笹川修一 「小林古径」の解説及びレファレン スデータの作成(古径について、主要 作品、主要所蔵館)
4	上越タイムス紙上連載 「生誕110年 齋藤三郎展」	①9月27日(水) ②9月28日(木) ③9月29日(金) ④9月30日(土) ⑤10月1日(日)	「齋藤三郎展」作品紹介(全5回) ②③④市川高子 ①⑤小川陽子
5	公明新聞紙上記事(文化欄)	11月1日(水)	笹川修一 「生誕140年小林古径の世界」
6	上越タイムス紙上記事	11月12日(日)	笹川修一 「生誕140年小林古径の世界」に寄 せて
7	六人の会 『戸張幸男彫刻作品集』	11月発行	宮崎俊英 「戸張幸男が高田に残したもの」
8	上越タイムス紙上連載 「古径さんの素描ー創作の原点」	①2月6日(火) ②2月9日(金) ③2月10日(土) ④2月11日(日) ⑤2月14日(水)	「古径さんの素描」作品紹介(全5回) ①③⑤小川陽子 ②④市川高子

(3) 展覧会図録・小冊子作成

No.	書籍名等	発行日	編集担当	執筆内容
1	『生誕110年 齋藤三郎展』 (発行:小林古径記念美術 館)	令和5年 7月発行	市川高子 小川陽子	市川高子「齋藤三郎 椿文様の変遷」 「扉解説」「トピック 兄・齋藤泰 全(泰三)との絆」「トピック 大 杉屋惣兵衛に今も残る三郎デザ イン」「年譜」「参考文献」 小川陽子「扉解説」「トピック 疎開文化人 との交流」
2	『生誕140年 小林古径の 世界』 (発行:小林古径記念美術 館)	令和5年 10月発行	笹川修一 伊藤舞実	笹川修一「小林古径をめぐる人たち」 「各章扉解説」「作品解説」「古径 の住まいと画室」「小林古径落款 集成」 伊藤舞実「作品解説」「年譜」

3	『小林古径記念美術館所蔵 柴田長俊作品集』 (発行：小林古径記念美術館)	令和6年 3月発行	笹川修一	笹川修一「柴田長俊年譜」
---	---	--------------	------	--------------

(4) 展覧会調査及び作家作品調査

No.	内容	調査日	担当	場 所
1	齋藤三郎作品調査	4月5日(水)	市川高子	長岡市栃尾
2	齋藤尚明作品調査	4月8日(土)	市川高子	作家宅(上越市内)
3	齋藤三郎調査	4月11日(火)	市川高子	久昌寺(上越市内)
4	齋藤三郎調査	4月19日(水)	市川高子	築田寺(町田市)
5	齋藤三郎作品調査	4月21日(金)	市川高子	所蔵先(上越市内)
6	齋藤三郎作品調査	4月27日(木)	市川高子	所蔵先(上越市内)
7	小林古径作品調査	5月12日(金)	笹川修一	島川美術館(仙台市)
8	寄託予定作品調査	5月17日(水) 5月18日(木)	笹川修一 伊藤舞実	収蔵庫内
9	寄贈予定作品調査	5月20日(土)	宮崎俊英 伊藤舞実	個人宅(新潟市)
10	齋藤三郎調査	5月25日(木)	市川高子	作家宅(上越市内)
11	小林古径作品調査	5月27日(土)	笹川修一	いずみ画廊(名古屋市)
12	令和6年度企画展作品調査	6月13日(火)	伊藤舞実 小川陽子	作家事務所(東京)
13	寄託予定作品調査	6月14日(水)	笹川修一 伊藤舞実	収蔵庫内
14	柴田長俊アトリエ調査	6月15日(木)	笹川修一 伊藤舞実	作家アトリエ(長野県)
15	小林古径作品調査	6月16日(金)	笹川修一	福井県立美術館(福井市)
16	令和7年度企画展調査	6月17日(土)	笹川修一	佐川美術館(守山市)
17	寄託予定作品調査	6月21日(水) 6月22日(木)	笹川修一 伊藤舞実	収蔵庫内
18	令和6年度企画展作家調査	7月18日(火)	伊藤舞実 小川陽子	美術館内
19	小林古径作品調査	8月7日(月)	笹川修一	歌舞伎座(東京都内)
20	小林古径作品調査	8月8日(火)	伊藤舞実	東京国立近代美術館(東京都)
21	令和6年度企画展調査	8月21日(月)	笹川修一 市川高子	小学館(東京都内)
22	令和6年度企画展調査	8月22日(火)	市川高子	作家宅(上越市内)
23	小林古径作品調査	8月22日(火)	笹川修一	霊友会(東京都内)
24	令和6年度企画展調査	8月31日(木)	伊藤舞実 小川陽子	美術館内

25	令和6年度企画展調査	10月9日(月)	伊藤舞実 小川陽子	上越市内
26	戸張幸男展展示監修	11月22日(水)	宮崎俊英	大巖寺(上越市内)
27	令和6年度企画展調査	1月28日(日)	伊藤舞実 小川陽子	作家宅(上越市内)
28	柴田長俊調査	1月31日(水)	笹川修一	作家アトリエ(長野県軽井沢町)
29	令和6年度企画展作品調査	2月7日(水)	伊藤舞実 小川陽子	作家事務所(東京都内)
30	令和7年度企画展調査	2月16日(金) 2月17日(土)	市川高子	作家宅(神奈川県)ほか
31	村山陽作品調査	2月21日(水)	市川高子	所蔵先(上越市内)

(5) 研究会・研修等

No.	研修名	日時	担当	会場
1	新潟県博物館協議会総会・研究発表会	4月28日(金)	宮崎俊英	新潟日航ホテル(新潟市)
2	第3回一般社団法人全国美術館会議社員総会	5月25日(木)	笹川修一 伊藤舞実	愛知県芸術文化センター(愛知県名古屋)
3	全国美術館会議小規模館研究部会第54回会合	5月26日(金)	笹川修一 伊藤舞実	徳川美術館(愛知県名古屋)
4	全国美術館会議小規模館研究部会第55回研修会・会合	令和6年1月10日(水)、11日(木)	笹川修一 市川高子	絹谷幸二 天空美術館(大阪府大阪市)
5	全国美術館会議第38回学芸員研修会(教育普及部会)	3月7日(木)、8日(金)	伊藤舞実	国立新美術館(東京都内)
7	新潟県博物館協議会理事会	令和6年3月下旬を予定	宮崎俊英	新潟市内

【調査研究事業の総括】

- ・令和5年度は古径生誕140年の記念年であったことから、講演会講師や原稿執筆依頼が増加した。開館3年目ではあるが、これまでの美術館事業を通じて美術館の存在が発信できていると感じた。
- ・現在の調査研究は展覧会事業を中心に行っており、調査した成果を「館の財産」として継続的に蓄積するとともに原稿執筆や作品の紹介等で公開していく。

5 作品収集・保管事業

購入予定作品…なし

寄贈予定作品

(1) 日本画

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状
1	小林古徑	羅浮仙	1917	絹・彩色	軸装 (3幅)
	梶田半古	騎龍観音	1893	絹・彩色	軸装
2	橋本龍美	草ん中	1986	紙・彩色	額装
3	横山操	夕湖	不明	紙・金銀・彩色	額装
4	安田鞞彦	良寛和尚	不明	紙・墨・彩色	額装

(2) 油彩画

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状
1	杉本善男	夏日妙高	1970	カンヴァス・油彩	額装
2	牧野虎雄	風景	大正末頃	カンヴァス・油彩	額装
3	牧野虎雄	牡丹	1940頃	カンヴァス・油彩	額装
4	牧野虎雄	黄水仙	1942	カンヴァス・油彩	額装
5	牧野虎雄	菊懸崖	不明	板・油彩	額装
6	牧野虎雄	梅	不明	板・油彩	額装
7	増谷直樹	ブラーノの運河	2000	カンヴァス・油彩	額なし
8	増谷直樹	ブルゴーニュの小さな村	2004	カンヴァス・油彩	額なし
9	増谷直樹	カルカッソヌのシャペル	2005	カンヴァス・油彩	額装
10	増谷直樹	雪の日	2006	カンヴァス・油彩	額装

(3) 工芸 (陶芸)

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状
1	富本憲吉	天目釉牡丹文陶板	不明	磁器	
2	齋藤三郎	鉄絵どくだみ文急須	1950～1960	陶器	
3	齋藤三郎	鉄釉芦文壺	1948～1954	陶器	
4	齋藤三郎	白磁鉢	1955～1964	磁器	
5	齋藤三郎	鉄絵梅文徳利	1948	陶器	初窯
6	齋藤三郎	染付椿文瓶	1955～1965	磁器	
7	齋藤三郎	辰砂瓶	1975	陶器	初窯
8	齋藤三郎	色絵籠に椿文飾皿	1960～1969	磁器	
9	齋藤三郎	青磁面取香炉	1960～1969	磁器	
10	齋藤三郎	鉄釉盃	1948～1954	陶器	2口
11	齋藤三郎	鉄釉草文手附徳利	1948～1954	陶器	
12	齋藤三郎	灰釉鉄絵梅文水指	1948～1954	陶器	
13	齋藤三郎	色絵柏樹文皿	1948～1954	磁器	
14	齋藤三郎	辰砂牡丹文扁壺	1955～1964	陶器	
15	齋藤三郎	色絵椿文煎茶器	1960～1969	磁器	

16	齋藤三郎	鉄絵芦文壺	1948～1954	陶器	
17	齋藤三郎	椿図	1955～1960	紙・彩色	軸装
18	齋藤三郎	椿三図	1970頃	紙・墨・彩色	軸装

(4) 現代美術

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状
1	堀川 紀夫	The Shinano River Plan 2008	2008	石・針金・紙	—
2	グループ GUN 撮影：羽永光 利、磯俊一、堀 川紀夫	雪のイメージを変えるイベ ント	1970	インクジェット プリント・紙	捲り (12枚)

(5) 寄託予定作品

個人寄託（氏名公表不可）

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状
1	奥村 土牛	鷹	1943	絹・彩色	軸装

ほか

日本画 46 点、油彩画 5 点、書 15 点、工芸 2 点、彫刻 2 点、素描ほか 6 点（合計 76 点）

(6) 所管替え予定作品

大島区総務地域振興グループから所管替え

No.	作家名	作品名	制作年	材質技法	形状
1	岩野 勇三	とりばい	1965	ブロンズ	レリーフ

彫刻作品 1 点

※上記作品は、令和 6 年 2 月 13 日に「令和 5 年度上越市美術資料収集委員会」を開催して意見を集約した結果、上記作品を収集することとし、現在事務手続きを進めている。

(7) 展示・保存環境調査

美術館内の展示保存環境が美術作品の展示に対して適正であるかを確認するため、下記のとおり気中濃度測定を実施した。

測定項目：アンモニア、ギ酸、酢酸、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド

測定箇所：古径記念室・古径記念室展示ケース、企画展示室、企画展示室展示ケース、一時保管庫内
期 日：7月4日（火）

実施機関：一般財団法人上越環境科学センター

(8) 作品・資料の貸与

展覧会名等	作家名	貸出作品	貸出期間
貸与先：上越市立歴史博物館			
令和5年度逸品展示 「どうする康政 榊原家資料展」 会期：3月25日（土） ～6月18日（日）	秋香	《榊原康政檄文染筆之図》	3月17日 （金）～6月 30日（金）
「常設展 第一期」 会期：3月18日（土） ～6月27日（火）	斎藤真一	《瞽女 キクエと桜》 《赤倉瞽女『越後瞽女日記』》 《西頸城 能生の駅・待合室にて『越 後瞽女日記』》	3月17日 （土）～6月 27日（火）
「常設展 第二期」 会期：6月28日（水） ～9月28日（木）	斎藤真一	《鶯口の雷『越後瞽女日記』》 《佐久の旦那『越後瞽女日記』》 《明星 妙高谷『越後瞽女日記』》	6月27日 （火）～9月 28日（木）
「常設展 第三期」 会期：9月29日（金） ～12月19日（火）	斎藤真一	《明星 二本木の雪『越後瞽女日記』》 《三人瞽女 冬の旅支度『越後瞽女日 記』》 《待合所にて「瞽女」『越後瞽女日記』》	9月28日 （木）～12月 19日（火）
「常設展 第四期」 会期：12月20日（水） ～令和6年3月22日（金）	斎藤真一	《雪の唄『越後瞽女日記』》 《西頸城の瞽女『越後瞽女日記』》 《お春の祈り『お春瞽女物語』》 《太郎の曲『お春瞽女物語』》	12月19日 （火）～令 和6年3月 22日（金）
貸与先：福井県立美術館			
特別企画展 「パリに行きたい！」 会期：9月15日（金） ～10月15日（日）	マリー・ ローラン サン	《花束》	8月27日 （日）～11月 1日（水）
	モーリ ス・ユト リロ	《クレミューの教会》	
	エミー ル・ガレ	《とんぼと水草文花瓶》 《藤文蓋付器》 《エナメル彩色野草文コップとカラ フセット》	

【作品収集・保管・管理業務の総括】

- ・令和5年度は購入予算を計上できなかったが、多くの方から作品の寄贈を受けることができた。なかでも個人から古径作品を含む大型の日本画作品等76点の一括寄託を受けることとなった。今後はこれらの作品調査を進め、活用を図っていく。
- ・収蔵品が増えるにつれて収蔵庫の容量が問題となるため、将来的な施設整備も見据えていくことが必要と考えている。
- ・作品収集事業は美術館事業の根幹をなすものであり、収蔵品は市民共有の文化的財産である。今後も収蔵品を充実させていくとともに適正に収集・管理し、展示等で公開していく。

令和6年能登半島地震対応について（小林古径記念美術館）

2024年1月1日（月）

- 16:10 地震発生（上越市内は震度5強、能登地方は震度7）
- 16:35 参集、美術館内の状態確認
 - ・ホール倉庫内…テーブル・椅子転倒状態（被害なし）
- 16:40 古径邸本邸・画室点検
- 17:00 美術館内状態確認（被害なし）
 - ・エントランス掲示物落下
 - ・展示室可動式パネルが数枚移動、絵画作品一部傾斜
- 17:30 博物館にて収蔵庫内の状況を確認（被害なし）
 - ・絵画ラックが移動している（ストッパーはかかった状態）

2024年1月2日（火）

- 9:00 美術館内再度点検
 - ・美術館施設・博物館収蔵庫…被害なし
- 11:00 清里収蔵施設内確認…被害なし
- 11:30 市民プラザ内の峯田彫刻作品《三つの角》（木彫）確認
 - ・女性の像が転倒し床面に敷いてある木彫ブロックが一部破損
 - ・高井進陶芸作品（アイシン寄贈作品）が全損 ※美術館所蔵品ではない
- 13:00 まちかど交流館内の峯田彫刻展示室の作品確認
 - ・《院生F》（テラコッタ）が展示台から後部へ落下し全損
 - ・破損した作品を撤去し、他の作品については展示台から降ろして床に安置

2024年1月4日（木）

- 9:00 博物館収蔵庫絵画ラックの作品固定作業
- 10:00 美術館通常開館
 - SNS、ホームページにて開館している記事を投稿

2024年1月5日（金）

- 9:00 まちかど交流館内峯田作品展示室の彫刻作品を一部入れ替えて展示復旧、開室

2024年1月9日（火）

- 17:59 余震発生（上越市内は震度4、長岡市は震度5弱）
- 18:30 美術館内の状態確認（異常なし）



市民プラザ (1階)



作品破損状況 (峯田彫刻作品)



(高井進作品)



高田まちかど交流館 (2階)



作品破損状況

令和6年度展覧会内容一覧

展覧会名	祈りの心象 柴田長俊展	なつかしき表紙絵 玉井カ三展	大塚いちお展	コレクション展 花にまつわる物語	生誕110年 濱谷浩展
会期	令和6年3月23日(土)～6月23日(日)	令和6年7月6日(土)～9月1日(日)	令和6年9月14日(土)～11月24日(日)	令和6年12月7日(土)～令和7(2025)年3月9日(日)	令和7年3月22日(土)～6月22日(日)を予定
日数	86日間 (観覧会・ゴールデンウィーク期間中は無休)	51日間	63日間	74日間	8日間 (令和6年度分)
内容	上越市出身の日本画家、柴田長俊の芸術を回顧する展覧会を開催します。1976年(昭和51)多摩美術大学大学院を終了した年に第3回創画展で初入選・創画会賞を受賞、1988年(昭和63)に39歳で会員に推荐されました。以降、柴田は創画会を中心に活動し、人間の生と死、「巡礼の道」と題した中世ヨーロッパの祈りの姿、自身が生まれ育った上越の自然風景など、生涯を通じて「祈りの風景」を描いてきました。本展では、当館所蔵の日本画及びステンドグラス作品を展示し、生涯にわたる柴田の作品世界をたどります。	上越市出身の洋画家、玉井カ三は、1908(明治41年)、新潟県中頸城郡柿崎村(現・上越市柿崎区)に生まれました。1928年(昭和3)には「太平洋画会研究所」に入所し、中村不折に師事しました。終戦後の1948年(昭和23)、『月刊讀賣』の表紙絵を手掛け、特に学年誌と言われる子ども向け雑誌の表紙絵画家として活躍します。突如20年以上にわたる表紙絵を描き続け人々に親しまれた玉井カ三の仕事っぷり返るとともに、洋画家としての側面を紹介し、写実的な画風で一時代を築いた玉井の画業を紹介します。	上越市出身のイラストレーター、アートディレクターの大塚いちおの展覧会を開催します。高田北城高校を卒業後上京、グラフィックデザイン専門学校で学び、1988年からフリーランスのイラストレーターとして活動を始めます。NHK教育テレビ「みいつけた!」ではキャラクターのほか、番組全体のアートディレクションを担当しました。本展はこれまで手掛けてきたイラストワーク、アートディレクションを切り口に、大塚いちおの仕事のこれまでとこれからを紹介します。	「花」をテーマに描いた作品は多くありますが、草花を写生したもの、花瓶に生けられたもの、植物を文様として意匠化したもの、人物など他の題材と組み合わせたものなど、描かれ方は様々です。本展では、美術史のなかで画題にされてきた植物について、描かれた故事や話とともにご紹介いたします。日本画、洋画、工芸など、分野を横断した「花にまつわる」作品の数々を展示します。	生誕110年を記念し、上越市ゆかりの写真家、濱谷浩の写真を振り返ります。濱谷は1915年(大正4)、東京の下谷に生まれました。1939年(昭和14)、フリーのカメラマンとして高田連隊スキー部隊の取材で新潟県高田市を初めて訪れ、豪雪の光景に衝撃を受けます。民俗学的視点から雪国の暮らしを取材するとともに、越後の芸術家や著名人の肖像を撮影しました。1960年(昭和35)には、写真家集団「マグナム」のアンア人初の寄稿写真家となります。本展では、世界的に著名な写真家・濱谷浩の作品を4章にわたって展覧します。
主な展示作品	展示構成 第1章:生と死への祈り・聖地巡礼 第2章:光輝の風景を描く 第3章:花のデザイン―ステンドグラス作品から 主な展示作品 《日の出・漁夫》(1974年) 《群衆》(1976年) 《野火》『久比岐野十二景』(2005年) ステンドグラス《遊動》(1991年)	展示構成 第1章:表紙絵画家として生きる 第2章:学年誌の歴史 第3章:洋画家としての顔 主な展示作品 『月刊讀賣』原画(1948年) 『小学2年生』原画(1954年) 《精味く頃》油彩・カンヴァス(1950年頃) その他、学年誌資料、附録、使用画材	展示構成 第1章:大塚いちおの世界 第2章:キャラクターができるまで・大塚いちおヒストリー 第3章:絵本のせかい 主な展示作品 雑誌表紙デザイン『ハルメク』『イラストノート』 広告ポスター「8月のキリン」 アートディレクション「NHK みいつけた!」 上越妙高駅お出迎えキャラクター「ウェルモ」 株式会社新潟放送キャラクター「ハレッタ」	展示構成 第1章:花と〇〇を掛け合わせると…? 第2章:文様化された草花たち 第3章:この絵には、どんな意味があるの? 主な展示作品 仲田大二《醫女と花》(1978年) 牧野虎雄《アマリス》(1926年) エミール・ガレ《オンジジウム文花瓶》(不明) 金島桂華《若松双鶴圖》(不明)	展示構成 第1章:人々の肖像 第2章:フォト・ドキュメントの実践 第3章:遺された自然を追って 第4章:『私』 主な展示作品 『雪国』『裏日本』 『学藝諸家』 『昭和女人集』『昭和男性諸君』 『アメリカン・アメリカ』『見てきた中国』 『地の貌』
展示点数	約25点	約60点	約150点	約50点	約200点
会期中のイベント	(1) 学芸員によるギャラリートーク 日時:①4月27日(土)②5月25日(土)③6月8日(土)13:30～ 対象:どなたでも(申込不要) 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります) (2) 庭園&古径邸建築ツアー 日時:5月4日(土)14:00～15:00 対象:どなたでも(申込不要) 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります) 内容:つつじの美しい時期に合わせ、美術館庭園の散策と、古径邸の建築の見どころを紹介します。 (3) 国際博物館の日無料入館 日時:5月18日(土)9:00～17:00 内容:国際博物館の日を記念して、施設の無料開放を行います。	(1) トークイベント「我ら、玉井カ三応援団!」 日時:8月3日(土)14:00～15:00 対象:一般(定員50名) 講師:山下裕二氏(美術史家・徳山雅紀氏(小学館ドラえもんルーム編集長) 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります) (2) ワークショップ「知る・観る・描く! 油絵の魅力を味わう」 日時:8月24日(土)10:00～15:00 対象:中学生以上(定員20名) 講師:伊藤将和氏(美術家・上越教育大学准教授) 料金:1,000円 内容:油絵について知り、色味や質感を味わいながら描いてみます。 (3) フォトスポット「表紙絵キャラになりきってみよう!」 日時:会期中の開館日 場所:美術館エントランス 内容:表紙絵のモデルになったつもりで写真撮影ができます。 (4) 「昭和レトロ喫茶・RIKIZO」(予定) 日時:7月20日(土)、21日(日)10:00～16:00 場所:二ノ丸ホール 内容:レトロな飲み物を飲みながら幼年雑誌を読み、付録づくりを楽しむことができます。	(1) アーティストトーク 日時:9月22日(日) ①親子対象:11:00～ ②一般対象:14:00～から 講師:大塚いちお氏 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります) (2) デザインワークショップ「本の表紙をつくってみよう!」 日時:10月13日(日)①子ども対象:10:00～12:00 ②一般対象:14:00～16:00 対象:各回10名(事前申込、先着順) 講師:大塚いちお氏 料金:1,000円 (3) トークセッション 日時:11月4日(土・祝)13:30～ 対象:30名(要事前申込み、先着順) 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります) (4) 庭園紅葉ライトアップ 日時:11月14日(木)～11月24日(日)日没から19:00まで 場所:小林古径記念美術館庭園 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります)	(1) 作品鑑賞会 日時:①12月14日(土)②令和7年1月11日(土)③3月1日(土) 各回14:00～ 対象:どなたでも 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります) (2) ふんわり香る サシェづくり 日時:12月15日(日)13:30～15:00 対象:20名(事前申込) 料金:1,000円 内容:作品鑑賞した後に、オリジナルサシェを作ります。 (3) 小林古径生誕記念日 キャンデルナイト 2025 日時:2月11日(火)16:00～19:00 ※荒天・小雪の場合は中止 場所:小林古径邸庭園 対象:どなたでも(定員なし) 料金:小林古径の生誕日を記念し、終日無料開館 抹茶と和菓子セット600円で提供。(先着100名) 内容:雪深い高田の冬と美術館に親しむイベントとして、庭園内に雪灯籠を作ります。	(1) 講演会「濱谷浩・人と作品」 日時:3月22日(土)14:00～15:00 対象:一般(定員50名)※電話かメールにて事前申込 講師:多田亜生氏(編集者) 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります) (2) 作品鑑賞会(R7度事業) 日時:未定(全2回)14:00～ 対象:どなたでも(申込不要) 料金:無料(ただし、展覧会入館料が必要となります) 内容:学芸員が作品の解説をします。 (3) 高校生無料ウィーク(R7度事業) 期間:4月26日(土)～5月11日(日) 対象:上越市の高校生の入館料が無料となります。 (4) 中学生のための写真ワークショップ(R7度事業) 日時:4月26日(土)・27日(日)(2日間)10:00～16:00 対象:中学生・高校生15人 講師:瀬戸正人氏(写真家・清里フォトアートミュージアム副館長) 料金:1人1,000円 内容:参加者が好きなテーマで作品を撮り、小さな個展を開催します。
入館料	一般510円/小・中・高生260円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料 ※4月26日(土)～5月11日(日)は「高校生無料ウィーク」で無料	一般 510円/小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料 ※7月20日(土)は「美術館ファミリーデー」上越市在住の18歳以下の方および、お子様と一緒に入館の家族2名まで無料	一般 700円/小・中・高生 350円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料 ※ウェルモ割:ウェルモの写真を提示で団体料金	一般 510円/小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料	一般 510円/小・中・高生 260円 ※幼児及び上越市内の小中学生は無料 ※4月26日(土)～5月11日(日)は「高校生無料ウィーク」で無料